



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社 コメ兵ホールディングス 上場取引所 東 名  
コード番号 2780 URL <https://komehyohds.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 卓児  
問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 吉田 浩之 TEL 052-249-5366  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年11月28日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向けライブ配信及び当社サイト動画掲載）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	52,764	34.5	3,210	84.1	3,271	91.4	2,137	95.8
2023年3月期第2四半期	39,220	28.0	1,744	57.0	1,709	51.8	1,091	51.0

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 2,512百万円（63.2%） 2023年3月期第2四半期 1,539百万円（92.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	195.05	—
2023年3月期第2四半期	99.64	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	58,254	26,398	44.7	2,377.68
2023年3月期	46,753	24,247	51.2	2,184.37

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 26,050百万円 2023年3月期 23,932百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2024年3月期	—	44.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	44.00	88.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	23.1	7,200	39.3	7,230	33.7	4,820	30.0	439.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(注) 特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社コメヒョウルークスを設立し、グループ会社化したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	11,257,000株	2023年3月期	11,257,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	300,668株	2023年3月期	300,628株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	10,956,360株	2023年3月期2Q	10,956,372株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料等の入手方法)

当社は、2023年11月20日11時に機関投資家、アナリスト向けの合同決算説明会をZOOMウェビナーでのライブ配信にて開催し、録画動画は後日当社コーポレートサイトに掲載する予定です。当日使用する決算補足説明資料は、当社コーポレートサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(四半期連結損益計算書関係) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行され、経済活動の正常化が進みました。その一方、国際情勢に端を発した円安による物価上昇傾向による個人消費への影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

リユース業界においては、持続可能な社会の実現に向けた動きとそれに伴うリユースへの意識の高まりを背景に、引き続き市場全体が拡大しております。

当社グループは、「つくる人に敬意をもち、つなぐ人に感謝し、手にする人に感動を提供することで、循環型社会の共感を創っていきます」をMISSION（存在意義）に掲げております。このMISSIONのもと、国内外で健全なリユース市場の形成に寄与するとともに、多くの方に“リユースは身近で便利なもの”と感じていただける取り組みを推進し、VISION（目指す姿）である「リレーユースを『思想』から『文化』にする」の実現を目指します。

こうした考えのもと、グループ全体でVISIONの達成に向け取り組んだ結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は52,764百万円（前年同四半期比34.5%増）で増収となりました。ブランド・ファッション事業では、株式会社コメ兵及び株式会社K-ブランドオフは過去最高売上高を達成するなど売上が大きく伸長しました。また、タイヤ・ホイール事業においても、夏タイヤのWEB販売が好調に推移したことなどにより増収となりました。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については、売上高増加に伴う売上総利益の増加と、販売費及び一般管理費を計画より抑制した結果、営業利益は3,210百万円（前年同四半期比84.1%増）、経常利益は3,271百万円（前年同四半期比91.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,137百万円（前年同四半期比95.8%増）と、いずれも大幅な増益となりました。

連結業績 （単位：百万円）	前第2四半期 （2023年3月期）	当第2四半期 （2024年3月期）	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
売上高	39,220	52,764	34.5%	13,543
営業利益	1,744	3,210	84.1%	1,466
経常利益	1,709	3,271	91.4%	1,561
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,091	2,137	95.8%	1,045

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ブランド・ファッション事業

ブランド・ファッション事業は、国内のグループ会社では、株式会社コメ兵で商品編集型の販売店舗であるand RELAY BY KOMEHYOの出店に加え、買取専門店を17店舗、株式会社K-ブランドオフで買取専門店（FC加盟店舗）を5店舗出店しております。また、海外のグループ会社では、販売店舗をBRAND OFF LIMITED（香港）で1店舗、名流国際名品股份有限公司（台湾）で1店舗を出店しました。さらに、KOMEHYO SINGAPORE PTE. LTD.（シンガポール）では1拠点で買取りを開始しております。

中古品仕入高については、株式会社コメ兵では「安心できる“いつもの”“近くの”場所での買取」をコンセプトに、商材確保のためのイベント買取や買取専門店の新規出店を積極的に行ったことに加え、プロモーション強化やキャンペーンにより既存店の強化を図りました。また、小売店舗の品ぞろえを充実させるために、個人買取では人気商品を中心に踏み込んだ買取価格を提示して買切り、法人仕入れも積極的に活用しました。

販売については、株式会社コメ兵のコンタクトセンターによる利便性の向上、訪日外国人を含めた来店者数の増加に対応するための店舗在庫の充実、お客様との関係性を深める施策及び国内外の複数店舗でブランドオフ屋号の小売店舗の改装を積極的に実施しました。また、個人買取が好調に推移したことにより、小売り向け商品を充実させたうえで法人販売を強化するとともに、株式会社KOMEHYOオークションと株式会社K-ブランドオフそれぞれが運営する法人向けオークションを強化しました。

営業利益については、仕入れが好調に推移したことで小売売上高が順調に推移し、さらに法人販売を強化したことにより大幅に売上高が増加し、売上総利益が増加したことに加え、販売費及び一般管理費は計画通りにコントロールできたことが奏功しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当セグメント売上高は50,800百万円（前年同四半期比36.1%増）、営業利益は3,125百万円（前年同四半期比80.4%増）となりました。

② タイヤ・ホイール事業

タイヤ、ホイール及びカスタム用パーツの販売については、特に夏タイヤのWEB販売が好調に推移しました。また、自社で企画販売したホイールは国内を中心に大幅に増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当セグメント売上高は1,940百万円(前年同四半期比3.1%増)、営業損失は6百万円(前年同四半期は6百万円の営業損失)となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、店舗の賃貸管理の他、グループ会社の主要な店舗をグループ会社に賃貸しております。

当第2四半期連結累計期間の当セグメント売上高は143百万円(前年同四半期比0.1%増)、営業利益は43百万円(前年同四半期比2.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は58,254百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,501百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金1,306百万円、売掛金751百万円、棚卸資産7,132百万円、流動資産その他(預け金他)1,182百万円、建設仮勘定306百万円、リース資産(無形固定資産)197百万円、無形固定資産その他(ソフトウェア他)297百万円並びに投資その他の資産222百万円の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は31,855百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,349百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金2,650百万円の減少を、買掛金292百万円、短期借入金8,367百万円、1年内返済予定の長期借入金2,450百万円、リース債務(流動)127百万円、未払金435百万円、流動負債その他(預り金)177百万円、リース債務(固定)136百万円の増加が上回ったことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は26,398百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,151百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2,137百万円の計上に加え、為替換算調整勘定344百万円及び非支配株主持分33百万円の増加が剰余金の配当383百万円を上回ったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.7%(前連結会計年度末は51.2%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,838百万円増加し、14,121百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、4,779百万円の資金支出となりました。(前年同四半期は2,520百万円の資金支出)

これは主に、棚卸資産の増加額6,910百万円及び法人税等の支払額982百万円が、税金等調整前四半期純利益3,205百万円を超過したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,138百万円の資金支出となりました。(前年同四半期は1,177百万円の資金支出)

これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出1,028百万円及び差入保証金の差入による支出126百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、7,565百万円の資金収入となりました。(前年同四半期は3,983百万円の資金収入)

これは主に、短期借入金の増加額8,359百万円が、長期借入金の返済による支出200百万円、リース債務の返済による支出174百万円及び配当金の支払額383百万円を超過したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想については、2023年8月14日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,382,235	11,689,185
売掛金	2,257,704	3,009,671
棚卸資産	18,705,467	25,837,780
その他	3,977,265	5,159,312
流動資産合計	35,322,672	45,695,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,779,608	3,822,103
土地	1,644,961	1,644,961
建設仮勘定	33,530	340,418
その他（純額）	786,416	887,406
有形固定資産合計	6,244,516	6,694,889
無形固定資産		
のれん	528,720	489,153
リース資産	273,934	471,149
その他	1,353,425	1,650,889
無形固定資産合計	2,156,080	2,611,192
投資その他の資産	3,030,208	3,252,483
固定資産合計	11,430,805	12,558,565
資産合計	46,753,478	58,254,515
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	686,781	979,309
短期借入金	12,515,000	20,882,100
1年内償還予定の社債	72,000	72,000
1年内返済予定の長期借入金	366,724	2,816,726
リース債務	236,828	364,678
未払金	1,182,045	1,617,343
未払法人税等	984,694	1,052,359
契約負債	619,554	559,671
賞与引当金	955,310	847,468
商品保証引当金	9,024	9,282
ポイント引当金	101,636	106,678
資産除去債務	-	3,284
その他	296,924	474,171
流動負債合計	18,026,525	29,785,075
固定負債		
社債	140,000	104,000
長期借入金	3,113,170	463,150
リース債務	54,929	191,040
役員退職慰労引当金	23,598	23,598
商品保証引当金	558	604
ポイント引当金	127,681	150,769
退職給付に係る負債	116,737	121,407
資産除去債務	763,616	829,724
契約負債	69,921	89,857
その他	69,629	96,524
固定負債合計	4,479,842	2,070,677
負債合計	22,506,367	31,855,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,803,780	1,803,780
資本剰余金	1,909,872	1,909,872
利益剰余金	19,854,230	21,607,827
自己株式	△80,494	△80,681
株主資本合計	23,487,388	25,240,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,720	50,339
為替換算調整勘定	414,662	759,473
その他の包括利益累計額合計	445,383	809,812
非支配株主持分	314,338	348,152
純資産合計	24,247,110	26,398,762
負債純資産合計	46,753,478	58,254,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	39,220,447	52,764,117
売上原価	29,409,969	39,472,694
売上総利益	9,810,478	13,291,422
販売費及び一般管理費	8,066,196	10,080,807
営業利益	1,744,282	3,210,615
営業外収益		
受取利息	636	8,045
受取配当金	10,784	11,510
為替差益	93,693	53,861
受取手数料	3,322	2,284
受取保険金	1,086	3,907
受取補償金	58,997	—
その他	15,752	22,185
営業外収益合計	184,273	101,794
営業外費用		
支払利息	25,947	32,046
開店前店舗賃料	183,349	4,610
その他	9,873	4,687
営業外費用合計	219,171	41,345
経常利益	1,709,384	3,271,064
特別利益		
固定資産売却益	—	823
助成金収入	6,993	—
特別利益合計	6,993	823
特別損失		
固定資産除却損	3,004	26,454
賃貸借契約解約損	600	542
減損損失	52,211	39,643
臨時休業による損失	4,185	—
特別損失合計	60,001	66,639
税金等調整前四半期純利益	1,656,376	3,205,247
法人税等	545,801	1,057,131
四半期純利益	1,110,575	2,148,115
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,931	11,046
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,091,643	2,137,069



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,110,575	2,148,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△289	19,618
為替換算調整勘定	429,420	344,810
その他の包括利益合計	429,130	364,428
四半期包括利益	1,539,705	2,512,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,554,535	2,478,729
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,829	33,814

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,656,376	3,205,247
減価償却費	576,166	769,090
減損損失	52,211	39,643
のれん償却額	28,687	39,567
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,338	△111,441
商品保証引当金の増減額 (△は減少)	△486	302
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	35,315	26,758
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	59,500	△48,422
契約負債の増減額 (△は減少)	48,339	△43,903
受取利息及び受取配当金	△11,420	△19,555
支払利息	25,947	32,046
為替差損益 (△は益)	△16,226	△4,996
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	—	△823
有形及び無形固定資産除却損	3,004	18,852
売上債権の増減額 (△は増加)	△154,089	△732,338
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,174,398	△6,910,960
未収入金の増減額 (△は増加)	153,700	△385,415
仕入債務の増減額 (△は減少)	△104,433	237,793
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△203,863	△8,799
未払金の増減額 (△は減少)	△204,941	173,094
その他	△304,897	△65,015
小計	△1,545,843	△3,789,271
利息及び配当金の受取額	9,920	19,097
利息の支払額	△31,332	△34,342
法人税等の支払額	△956,100	△982,410
法人税等の還付額	3,092	7,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,520,264	△4,779,557
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△777,639	△1,028,233
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	823
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△26,131	—
差入保証金の差入による支出	△371,472	△126,221
差入保証金の回収による収入	756	20,497
その他	△2,622	△5,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,177,110	△1,138,763

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,080,000	8,359,000
長期借入金の返済による支出	△684,576	△200,018
リース債務の返済による支出	△156,876	△174,093
自己株式の取得による支出	—	△187
社債の償還による支出	△36,000	△36,000
配当金の支払額	△219,204	△383,674
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,983,343	7,565,026
現金及び現金同等物に係る換算差額	416,940	191,628
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	702,909	1,838,333
現金及び現金同等物の期首残高	10,738,954	12,283,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,441,864	14,121,831

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、当該法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

（四半期連結損益計算書関係）

臨時休業による損失

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、従業員に対し支給した休業補償手当等を、臨時休業による損失として特別損失に計上しております。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社間の吸収合併について)

当社は、2023年10月13日開催の取締役会において、香港の連結子会社である BRAND OFF LIMITED (以下、「BRAND OFF HK」という。)と KOMEHYO HONG KONG LIMITED (以下、「KOMEHYO HK」という。)につきまして、「BRAND OFF HK」を存続会社として合併することを決議いたしました。

1. 本合併の目的

当社グループのブランド・ファッション事業におけるグローバル戦略は、「KOMEHYO」と「BRAND OFF」という2つの屋号と、国内最大規模のシェアを持つ「買取り」「小売り」「卸売り」「オークション」という4つのチャンネルの最適な組み合わせを進出都市に応じて展開し、現地にリユース文化を根付かせながら成長していくことを目指しております。

国内ブランドリユース市場以上に成長が期待される海外ブランドリユース市場でのシェアを拡大していくうえで、グローバルでのバリューチェーンを構築し、迅速な意思決定と実行力により成長スピードを高め、経営資源を効果的かつ効率的に活用できる体制といたします。

本件により、当社のグローバル展開を加速し、海外ブランドリユース市場におけるシェア拡大とリユース文化を形成することで、企業価値の向上を目指してまいります。

2. 本合併の要旨

(1) 本合併の日程

取締役会決議日	2023年10月13日
合併契約締結日	2024年3月(予定)
合併効力発生日	2024年3月(予定)

※本合併は、当社においては会社法第796条第2項に定める簡易吸収合併、「BRAND OFF HK」及び「KOMEHYO HK」においては同法第784条第1項に定める略式吸収合併であり、いずれも株主総会の承認を得ることなく実施いたします。

(2) 本合併の方式

「BRAND OFF HK」を存続会社とする吸収合併方式で、「KOMEHYO HK」は消滅会社となります。

(3) 合併に係る割当ての内容

当社連結子会社間の吸収合併であるため、本合併による株式及び金銭等の割当てはありません。

(4) 合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 本吸収合併の当事者の概要

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
①名称	BRAND OFF LIMITED	KOMEHYO HONG KONG LIMITED
②所在地	中華人民共和国香港特別行政区 Tsim Sha Tsui, Kowloon	中華人民共和国香港特別行政区 Tsim Sha Tsui, Kowloon
③代表者役職・氏名	ダイレクター：山内 祐也	ダイレクター：加藤 陽治 石原 誠二
④事業内容	ブランド品などの小売（8店舗）	ブランド品などの法人販売
⑤資本金	100 百万香港ドル	121 百万香港ドル
⑥設立年月日	2008年6月	2013年6月
⑦発行済株式数	100 百万株	121 百万株
⑧決算期	12月	3月
⑨大株主及び持株比率 (2023年9月30日現在)	当社が持分比率100%を保有する 株式会社K-ブランドオフ 100%	株式会社コメ兵ホールディングス 100%
⑩直前事業年度(2023年3月期)の財政状態及び経営成績		
純資産	1,407 百万円	863 百万円
総資産	2,005 百万円	947 百万円
1株当たり純資産	14.07 円	7.13 円
売上高	3,702 百万円	1,866 百万円
営業利益	659 百万円	58 百万円
経常利益	652 百万円	62 百万円
当期純利益又は当期純損失	648 百万円	△16 百万円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失	6.48 円	△0.13 円
1株当たり配当金	—	—

4. 合併後の状況(予定)

2024年3月(予定)

(1) 名称	未定
(2) 所在地	中華人民共和国香港特別行政区 Tsim Sha Tsui, Kowloon
(3) 代表者	ダイレクター：山内 祐也
(4) 事業内容	①香港を中心としたブランド・ファッション事業 ②アジアエリアの海外事業会社の統括 ③海外事業における商品センター機能の設置
(5) 資本金	100 百万香港ドル
(6) 決算期	12月
(7) 大株主および持株比率	当社が持分比率 100%を保有する連結子会社 2 社(株式会社コメ兵、 株式会社 K-ブランドオフ) 各 50%

5. 業績に与える影響

本件は、当社連結子会社間の組織再編であるため、2024年3月期業績に与える影響は軽微であると考えております。今後、適時開示が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。